

## 食品業界における「お客様からのご指摘品」の分析技術の最前線

～化学で異物・異臭・腐敗は、どこまで解明できるか～

### ◆開催趣旨◆

昨今の食品への異物混入事故により、消費者の食の安全・安心に対する関心は、一段と高まっております。統計資料によると食品の品質に関する苦情要因としては、有症事例を除き、異物混入が最も多く、次いで異臭や腐敗などとなっております。生産者側はハードおよびソフトの面で様々な対策を実施しておりますが、これらが大きく減少していく傾向とはなっておりません。この一因として、異物などの鑑定が不十分なため、原因の特定に至らず、有効な防止策を立てられていないことが考えられます。

そこで本シンポジウムでは、食品の異物分析に携わる方々を対象とし、食品業界としての異物分析技術の普及と向上をめざし、化学分析でどこまで解明できるか、その最新情報と最適な分析技術を選択する情報提供を行います。

### ◆プログラム◆

09:30- 受付開始

座長 藤田和弘 (一般財団法人日本食品分析センター)

10:00-10:05 開会挨拶 望月直樹 (アサヒグループホールディングス株式会社)

10:05-10:45 講演① 食品業界におけるお客様ご指摘対応について

キューピー株式会社 宮下 隆

10:45-11:45 講演② 食品中に混入した樹脂やゴムの鑑定テクニック

一般財団法人化学物質評価研究機構 渡邊智子

11:45-13:00 昼食

13:00-14:00 講演③ 食品における異物鑑定の実際

株式会社生活品質科学研究所 (元・東京都健康安全研究センター) 田口信夫

座長 原田勝寿 (株式会社ヤクルト本社)

14:00-15:00 講演④ ハロフェノール及びハロアニソール分析技術とその汚染対応例

サントリービジネスエキスパート株式会社 但馬良一

15:00-15:20 休憩

15:20-16:00 講演⑤ 微生物による腐敗・変敗解明での化学分析の有用性

一般財団法人日本食品分析センター 吉田信一郎

16:00-17:00 講演⑥ 食品中・生体試料中の毒劇物及び有害物質の分析

警察庁科学警察研究所 太田彦人

17:00-17:20 総括及び閉会挨拶 一色賢司 (日本食品化学学会理事長)

◆ 主 催 : 日本食品化学学会 (担当理事 望月直樹、実行委員長 宮下隆)

◆ 協 賛 : 公益社団法人日本食品衛生学会、公益社団法人日本分析化学会

○ 日 時 : 2015年8月7日(金) 10:00-17:20

○ 場 所 : 赤坂溜池タワー13F (〒107-0052 東京都港区赤坂2-17-7)  
溜池山王駅 12番出口から徒歩5分、赤坂駅 2番出口より徒歩3分

○ 定 員 : 120名 (事前登録にて受付し、定員になり次第、受付け終了と致します)

○ 参加費 : 主催学会の個人・法人会員および協賛学会の正会員・賛助会員は4,000円  
非会員は7,000円。いずれも会場での当日支払いとなります

○ 申込み : 主催学会HPの「登録・お問合せ」の画面よりお申込ください

⇒満席の為、受付終了となりました(6/20)。